

2023年度

ニチイキッズ井瀬木保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月2日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育室に保育理念を掲示し、常に意識しながら保育に取り組めるようにした。「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」保育とは何かを考え、活動や遊びの場を考えた。
子どもの発達援助	「子ども主体の保育」とは何かを話し合い、一人ひとりに寄り添った保育ができるようにした。子ども達が過ごしている姿からのびのびと遊べる環境を考え、安心して過ごせる場になるような保育を心掛けた。
保護者に対する支援	登降園時には笑顔での会話を心がけ、保護者の方の悩みや声に耳を傾けたり、園での様子を丁寧に知らせたりし、関係作りに努めた。さらに、保護者参加型の行事を開催することで、園の取り組みや子どもの様子を知ってもらう機会を設けることができた。
保育を支える組織的基盤	朝礼やミーティング、会議を通し、職員間での情報共有の意識を高めた。 園内外の研修を毎月実施し、保育の質の向上を目指したり、安心・安全な環境を再確認したりすることができた。

総評
今年度は「安全計画」をたて、毎月の避難訓練の様子を園だよりで保護者の方に知らせたり、日頃の散歩の場面や、紙芝居を通して、子どもたちに交通安全の大切さを伝えたりした。 昨年度に引き続き、不適切保育について学び「大人がされて嫌なことは子どもにもしない」を根底とし、子どもの最善の利益について職員間でしっかり話し合い、日々の保育につとめた。 来年度も引き続き、危機管理意識を高め、「命を預かっている」という自覚と意識を持って保育にあたっていきたい。

